



刻々と、何が変わっているのか？

日本と原発 4年後

2015年7月25日13時 [東京都 新宿区]
放射線量 $0.0319 \mu\text{Sv}/\text{時}$
同日、同時間帯 [福島県 双葉郡 浪江町]
放射線量 $5.0 \mu\text{Sv}/\text{時}$



監督 河合弘之 (弁護士) 構成・監修 海渡雄一 (弁護士) 音楽 新垣
2015年/日本/ドキュメンタリー/カラー/ステレオ/ビスタ/138分/制作・配給:Kプロジェクト/©Kプロジェ

原発の危機を歴史、原発の事故から現在に至るまで、台詞も超えて描かれた日本の原発のすべて



知っていますか？原発のすべて。

原子力発電の仕組みとは、歴史とは、それを支える日本の社会構造とは。否定する人・推し進める人。避難生活を送る人たちは…



全国の原発差し止め訴訟の先頭に立つ弁護士が描く原子力発電のすべて！
2014年に発表された映画『日本と原発 私たちは原発で幸せですか?』から1年。
刻々と変化する問題を新たに伝えるために、映画「日本と原発」は、その瞬間を記録して続けてゆく。



ピラミッドのように積み上がりながら、ふる里を侵蝕し続ける放射性廃棄物。
毎時5.0マイクロシーベルト！放射線量標識が立ち並ぶ常磐自動車道。
低線量被曝とは？母親たちの苦悩に答えはあるのか？
日本にも起こりうるテロ・戦争行為で原発は、自国に向けられた核兵器と化す。
高浜原発を止めた司法の判断！そして再稼働は…？
東電元役員に下された強制起訴までの道のりとは…？

日本と原発 4年後

【取材にお応え頂いた方々】

佐藤 暁(原子力コンサルタント)／崎山比早子(医学博士)／小泉純一郎(第87～89代内閣総理大臣)／細川護熙(第79代内閣総理大臣)
近藤駿介(前原子力委員長)／木元教子(元原子力委員)／青木秀樹(弁護士)／飯田哲也(環境学者)／大島堅一(環境経済学者)
古賀茂明(元経産省)／田中三彦(元原子炉設計者)／馬場 有(浪江町長)／避難生活を送る方々

製作・監督:河合弘之 構成・監修:海渡雄一 音楽:新垣隆 制作協力:木村結 脚本・編集・監督補:押身風太郎

2015年|日本|ドキュメンタリー|カラー|ステレオ|ビスタ|138分|制作・配給:Kプロジェクト|©Kプロジェクト nihontogenpatsu.com

2016年11月23日(水)開場:12:30

宮崎中央公民館 大研修室

「上映会」13:00～&「弁護士による裁判報告」15:20～16:00

上映費用として500円

主催：原発なくそう！九州川内訴訟宮崎原告団

連絡先：コープみやざき労組 TEL0985-28-0600